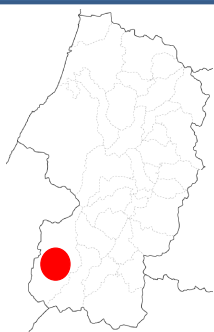
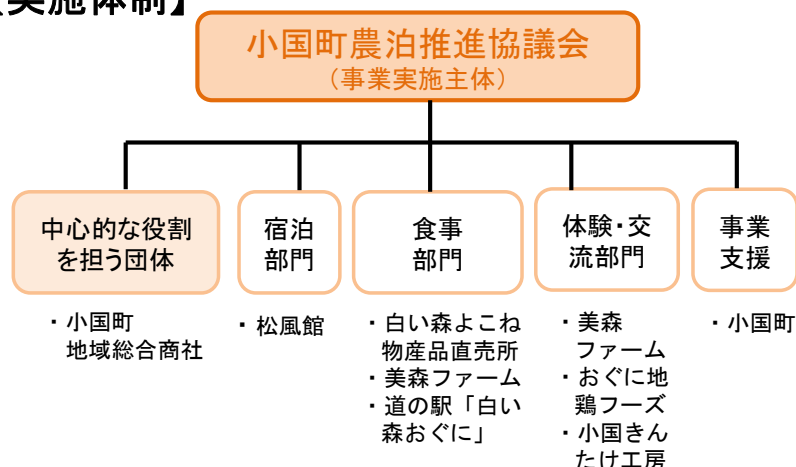


- 本町の豊かな自然環境、食文化を活かして、民間主導によるインバウンド観光を進めていく。
- 飯豊・朝日連峰などの豊かな自然環境、マタギ文化、温泉施設などの特徴的な資源がある。冬季には「雪の学校」の取り組みが行われており、通年型の観光を支えるコンテンツの充実を図る。
- アウトドアプロショップと連携し、既存施設を活かしたソフト面の充実により、交流人口の拡大を図る。

山形県小国町



【実施体制】



【採 択 年 度】
令和元年度

【事業実施期間】
令和元～2年度

【特徴的な取組】

- ・インドネシア、台湾からの観光客の受け入れ拡大を進めるために、地域の食材を活かした料理メニューの開発、四季を通じた体験コンテンツの開発を行う。それをもとに、実際にモデルツアーを企画し、インドネシアや台湾からの旅行客を実際に受け入れ、課題などの把握を行い、改善につなげていく。
- ・白い森交流センターリフレ(宿泊施設)、オートキャンプ場については、アウトドアプロショップと連携し、メーカーのブランドイメージとリンクした施設づくりを進めるために、専門的な視点で当該施設の課題等を整理し、施設づくりに活かしていく。



飯豊連峰



観光わらび園

【取組内容】

- (1) インバウンド観光推進の検討
 - ①インドネシア、台湾旅行エージェントとの検討
 - ②モニターツアーの実施
- (2) 白い森交流センターリフレ等の魅力化に向けた検討
 - ①アウトドアプロショップと連携した検討会の開催



白い森交流センター リフレ



雪の学校

- (3) 地元食材を活かしたメニューの開発
 - ①プロ料理講師による講習会の開催
- (4) 体験コンテンツの開発
 - ①地域資源の調査
 - ②体験コンテンツのメニュー化



インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約